

## 広島県人的資本経営研究会の管理・運営業務 審査評価基準

評価項目	評価の視点	係数	評価点	点数
<b>業務の実施方針</b>				
実施方針	・ 本業務の目的、事業内容を十分理解している実施方針となっているか。	1	6	6
<b>具体的な実施内容</b>				
研究会事務局管理・運営業務（業務の実施体制・スケジュール等）	・ 業務内容に応じた適正な実施体制（責任者、人員配置、役割分担等）となっており、業務を確実に実施することができるか。	1	6	6
	・ 個人情報や企業情報の管理についての体制、取組が具体的に記載されており、適切な管理が実施できる内容となっているか。	1	6	6
	・ 本業務に関する実施スケジュールは、適切かつ現実的なものであるか。	1	6	6
	・ 会員企業に対して、ワークショップへの参加などに繋がる効果的なアプローチとなっているか。	1	6	6
開示レポートの作成支援（ワークショップでの対面支援）	・ 会員企業がいつでも参加できるよう偏りがないワークショップの日程、回数、工夫となっているか。	2	6	12
	・ 人的資本経営に取り組む意義の共有や、社内推進に向けたアドバイス、開示ツールの利用方法の理解促進など、参加者が開示レポートを作成できるような提案となっているか。	3	6	18
	・ 本支援を効果的に遂行するための自社の知見、考え、人材などが記載されているか。	1	6	6
開示レポートの作成支援（個別相談窓口対応）	・ 人的資本経営の実践（開示）、人事領域の施策を進めるうえで、問題解決の方向性が見え、企業ニーズに沿ったきめ細かい支援ができる、コンサルティング実施フローとなっている	3	6	18
	・ 本事業を進めるうえで、適切な資格・知識などを有する者を、適切に配置しているか。	1	6	6
	・ 本業務を通じて、人的資本経営の実践(開示)につなげていくための工夫・導線などとなっているか。	2	6	12
開示レポートの作成支援（作成進捗状況管理）	・ 進捗状況管理の方法や活動目標達成に向けたロードマップが具体的に示されているか。進捗状況に応じた、開示レポートの作成に向けたフォローアップの手法などが示されているか。	2	6	12
開示ツール・開示ツール(システム)の検証	・ 開示ツール、特にシステムを改善するにあたって効果的な提案となっているか。	2	6	12
機運醸成	・ 業務の活動目標達成のために、研究会等の活用が増えるような効果的な広報施策が提案されているか。	2	6	12
<b>これまでの業務実績</b>				
類似業務に関する実績等	・ 同種又は類似業務に関する実績やノウハウが豊富であるか。	1	6	6
<b>所要経費</b>				
予算及び経費内訳	・ 予算額及び経費の内訳に妥当性があるか。	1	6	6
合 計（150点満点）	特記事項	総合点		150

※採点基準（6段階）

6：非常に優れている 5：優れている 4：やや優れている 3：普通 2：やや劣っている 1：劣っている

※選定委員による評価結果の合計が、満点の6割に満たない場合は、選定しない。

※総括意見欄は、当該提案者に対する総合的な評価について、必ず記載してください。